

07 / 28 - 07 / 29

EXPO メッセ「WASSE」
地域の魅力発見ツアー 夏



眼前で化学反応がおこる
ワークショップで
「化学の面白さ」を訴求

「欲しいと思ったらまずやってみる」の社風で独創的な製品開発

建築や土木、住宅向けのシーリング材やコーキング材、電子材料用接着剤などの開発から製造、流通までを一貫して担うことで、品質の高さとスピードの両立を図っているシャープ化学工業株式会社。

「くらし・化わる 生活想造企業」を掲げて、日々の生活に新しい価値を提供すべく、世界初、国内初とされる独創的な製品開発に取り組んでいます。例えば、国内ではシリコン系しかなかった透明タイプのシーリング材市場に変成シリコン系シーリング材を開発したほか、手絞りできるフィルムパック入りシーリング材をパウチ容器（特許取得済）で実現し、省資源・省ゴミに貢献しています。「面白そう、欲しい、と思ったらまずやってみる」という社風から、便器と床の隙間の汚れ防止用はがせるシーリング材や貼ってはがせるポスター用接着剤などユニークなDIY製品も展開しています。

万博カラーのアートパネルづくりのワークショップを開催

大阪・関西万博（以下、「万博」という）では、EXPOメッセ「WASSE」で開催される「大阪ウィーク～夏～」において、「地域魅力発見ツアー 夏～大阪43市町村の見どころ～」の「やりなはれゾーン」で、堺市内のものづくり企業4社（シャープ化学工業、河辺商会、小泉製作所、常磐精工）合同で廃材を活用したアート作品のワークショップを開催します。具体的には、来場者のこどもたちを対象に、QRコードが印字された「スクエア記念チケット」を収めるホルダーづくりを体験してもらうもので、シャープ化学工業では、アルミフレームの中に入れるアクリル板に樹脂のビーズで描く砂絵のようなアート作品を固めるための速硬化樹脂を提供。透明の樹脂を混ぜると硬化が始まる化学変化が楽しめます。

「FactorISM」が、家族をはじめ多くの人に会社を知ってもらうきっかけに

2023年度から「堺オープンファクトリー事業」や「FactorISM」(*)に参加したことをきっかけに、「会社のことを多くの人に知ってもらえる」手応えを実感すると永江弘武工場長。なかでも印象に残っているのは「FactorISM」に初めて参加した年の最終日に従業員の家族を招いて、こどもたちにも職場を見てもらったこととか。化学には「危険・汚い・くさい」といったイメージを抱かれがちですが、実は暮らしに欠かせない未来を支える技術であることや、何より「化学の面白さ」を、国内外からの多くの万博来場者に伝えたいと考えています。

※FactorISM（ファクトリズム）とは、堺市や八尾市など大阪府内の町工場でものづくりの現場を体験・体感してもらうイベント。一般の方向けに工場見学やワークショップを開催し、職人が何を考え、何を感ずるものづくりに励むのかを知り、そこに憧れをもつ。合言葉「こうばはまちのエンターテインメント」にはそんな思いが込められている。



液状ポリマーと粉を均一に分散させる
「混練り工程」



定番色から特注色までを調色



カートリッジへの充填ライン

企業概要

所在地 〒592-8352
堺市西区築港浜寺西町12-1
TEL 072-268-0321
設立年 1965年（1960年創業）
資本金 9,200万円
従業員 69名

公式サイト

さかしる



執行役員 工場長
技術部長

永江 弘武 さん

万博に出展者として関わること深い喜びと誇りを感じて

私はEXPO'70が開催された吹田の万博記念公園の近くで生まれ育ち、今でも年に数回は訪れています。開催から55年を経て、同公園が今もみんなの心に残る特別な場所であるように、今のこどもたちにとっては今回の大阪・関西万博が将来にわたって記憶に残るのでしょう。その万博に出展者として直接関わることができることに深い喜びと誇りを感じますし、社員一人ひとりも同じ誇りを持ってくれたら嬉しいですね。そんな思いを胸に、万博という大舞台に臨みたいと思っています。

事業内容

シーリング材・接着剤・防水材の
製造販売、工事関連商品の仕入れ
販売、輸出入

主な取引先（納入先）

ホームセンター、ネットショップ、
塗料・防水材販売店、自動車整備
工場、電子材料メーカー

主な製品・サービス等

建築土木・産業・DIY用シーリング材、
接着剤、防水材